

東海市産業振興ビジョン

第2次実行計画

(平成26年度～28年度)

東海市環境経済部商工労政課

平成23年3月、本市における産業振興の方向性や施策展開の方策を示した産業振興に関する指針として策定した「東海市産業振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）」を推進するため、平成23年度～25年度を実施期間として「第1次実行計画」をとりまとめ、市の産業振興全般に対する助言等を行った。今回、平成26年度～28年度までを実施期間とした第2次実行計画」を取りまとめた。

1 実施期間

平成26年度から28年度までの3か年間とする。

2 ビジョンにおける第2次実行計画の位置付け

本ビジョンの目標年次（35年度）までの期間における本実行計画の3か年間のとらえ方（位置付け）は以下のとおりである。

- ① ビジョンの目標である「イノベーションへの挑戦、固有の価値創造」に向けた「学思行」の第2ステージ「思のステージ」として考える期間とする。
- ② 幅広く知識・情報等に触れる機会を提供するとともに、事業者それぞれが持つ強みを最大限高める具体的な方法を検討する期間とする。

3 5つの産業展望（産業振興の方向性）における重点推進項目と期間目標の設定、並びに事業の実施計画

- 本ビジョンで明らかにした産業の各将来展望において、本実行計画として留意すべき重点推進項目と期間目標の設定、並びに具体的な事業の実施計画を定め、これを推進する。
- 事業実施計画では、本ビジョンで記載した事業のほか、継続事業の中でも本ビジョン推進に関連する事業は記載した。

また、事業実施計画では、事業概要、実施体制、年度別の実施内容を明記したほか、慣例的な事業以外の施策については、施策ごとの目標指標を掲げた。

産業展望 1 強みを活かした事業の高度化と経営革新

☆ 企業や事業の優位性を高める固有の強みに着目した産業振興を推進する

重点推進項目①

○新入社員、経営者、管理職、技術者等の各層を対象とした人材育成

期間目標：各層に対する多岐にわたる分野での人材育成の充実

(参加者数200人/年)

施策 No. 1	継続事業		
事業名	達人養成塾“極” ^{きわみ}		
事業概要	事業所の経営者またはその従業員が「達人養成塾“極”」に参加した結果、その分野のエキスパートになれるよう、その道を“極める”という熱い思いを込めて“極”と表現し、会員事業所の事業所価値の向上と目標達成に寄与する研修会を企画実施する。(現在は人材育成講座として実施している。)		
実施体制	商工会議所(市の補助事業)		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	研修会の実施	研修会の実施	研修会の実施
目標指標	参加者数 200人	参加者数 200人	参加者数 200人
実績	11講座 135事業所 171人	8講座 80事業所 129人	—

施策 No. 2	新規事業		
事業名	中小企業大学校受講料補助金		
事業概要	中小企業の経営状況改善のため、中小企業大学校瀬戸校の各種研修コースを受講する事業所について受講料を補助する。		
実施体制	商工会議所(市の補助事業)		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の実施	事業の実施継続	事業の実施継続
目標指標	5事業所 67,500円	7事業所 108,500円	5事業所 67,500円
実績	4事業所 54,500円	1事業所 15,500円	—

※達人養成塾“極”とは

※平成27年度以降の研修内容は協議中

- 【おもてなしの達人】新入社員研修講座、デキる男のビジネススタイルUP マナー講座等
- 【ブランディングの達人】自社の魅力に気づき 発信しよう知的資産経営講座、絆づくり講座
- 【ものづくりの達人】先進地視察研修、5Sの魔法 工場改善術等
- 【ITの達人】Facebook ページ作成講座等
- 【マネジメントの達人】業績向上法の基本と産学連携、企業変革の基礎と進め方等



重点推進項目②

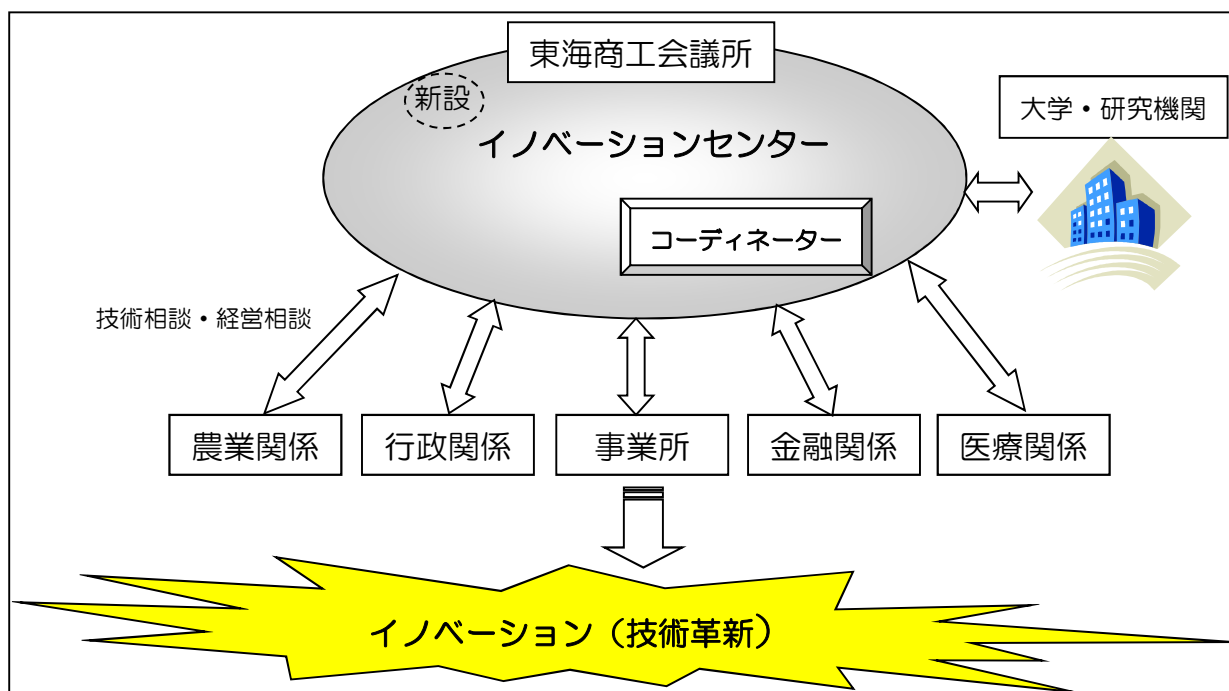
○市内事業者のあらゆるニーズに対応したワンストップサービスを提供する商工会議所の機能強化を図り、各事業者のイノベーションの推進

期間目標：イノベーションセンターの開設

期間目標：商工会議所にブランド研究会の発足

施策 No.3	新規事業		
事業名	イノベーションセンター		
事業概要	<p>東海市の中堅・中小事業者の経営革新を支援し、競争力の強化を図るため、事業所の一番身近な産業支援のコンビニとして、生産現場の困りごとや基盤技術の向上など、技術・経営相談について、ワンストップで対応するとともに、要望に応じて事業所への出前相談も行う。</p> <p>また、産学官連携を推進し、新技術、新産業創出の支援とともに、産産連携などのマッチングも行う。</p>		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	イノベーションセンターの開設	相談対応	相談対応
目標指標	—	相談件数 10件	相談件数 20件
実績	イノベーションセンター機能の検討	7件	—

<イノベーションセンターのイメージ>



施策 No.4	新規事業		
事業名	ブランド研究会		
事業概要	商工会議所にブランド研究会を設立し、店舗・事業所の利益の源泉である「無形の強み」（知的資産）を抽出、ブラッシュアップするとともに、それを発信することで、店舗・事業所の価値創造を支援する。		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	ブランド研究会の発足と活動施策の企画	先進事例視察及び研究活動	先進事例視察及び研究活動
目標指標	—	—	—
実績	企業ブランドの向上を支援する方法を検討	実施予定なし	—

産業展望2 新しい産業の育成・誘致、起業家の支援

☆ 将来の社会経済動向に対応した成長産業を育成するため、新分野への進出や、事業展開等によって、新しい事業領域への挑戦を支援する

重点推進項目③

○社会情勢の変化に対応できる強い中小企業を育成するため、新産業・新技術の創出を推進する。

期間目標：新産業創出補助事業の創設

施策 No.5	新規事業		
事業名	新産業創出補助金		
事業概要	市内の中小事業者を対象に新産業・新技術の創出につながる研究開発に係る費用等（原材料費、機械購入費、調査費等）を補助するもので、将来の社会経済動向に対応した成長産業を育成し、新分野への進出を支援する。		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	調査・検討	実調査・検討	継続調査・検討
目標指標	—	—	—
実績	他地域の補助金制度の調査を実施。効果的な補助金制度のあり方について検討	市内中小企業からヒアリングを実施し、補助金制度のあり方について検討	—

施策 No.6	新規事業		
事業名	企業誘致優遇制度		
事業概要	市内への企業立地を促進するため、工場等の新設または再投資（工場等の増築、改築又は償却資産を取得）をする企業に対し、交付金を交付する。 また、工業地域及び工業専用地域における緑地面積率等を緩和する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	制度設計	実施	継続実施
目標指標	—	—	1件
実績	制度設計を行って、企業立地交付金条例等を制定した。	企業立地交付金条例を施行し、制度のPRに務めた。 また、工場立地法に基づく市準則を定める条例を施行し、緑地面積等を緩和した。	—

産業展望3 成長力ある商業・サービス産業への転換と集積

☆ 市内で統一的なキーワードを掲げ、全市的な取り組みを実施する

☆ 中心市街地の活性化と商業集積を図る

重点推進項目④

○市「第2次東海市健康増進計画」に基づく「健康応援ステーション制度」の充実・推進

期間目標：健康応援ステーション制度改正、店舗目標：飲食店45店舗

施策 No.7	継続事業		
事業名	健康応援ステーション制度		
事業概要	総合的に市民の健康づくりと生きがいくりに取り組み、市民一人ひとりの豊かな人生と健康長寿の実現を図ることを目的に市で策定した「第2次東海市健康増進計画」に基づく「健康応援ステーション制度」の充実と推進。		
実施体制	市・商工会議所		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	運動施設5施設 飲食店35店舗	運動施設5施設 飲食店40店舗	運動施設5施設 飲食店40店舗
実績	運動施設5施設 飲食店35店舗	運動施設5施設 飲食店33店舗	—

重点推進項目⑤

○「株式会社まちづくり東海」と連携した計画的な店舗誘致

期間目標：中心市街地エリア内の未利用地の店舗等活用（商業系用途の80%）

施策 No.8	継続事業		
事業名	エリアマネジメント		
事業概要	名鉄太田川駅を中心とした中心市街地の活性化を図り、にぎわいを創出するために、地権者等との合意形成を図り、中心市街地の未利用地を対象とした商業集積のための土地利用（商業配置）を進める。		
実施体制	株式会社まちづくり東海（市の委託事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	商業機能誘致の推進	商業機能誘致の推進	商業機能誘致の推進
目標指標	2店舗誘致	3店舗誘致	2店舗誘致
実績	4店舗誘致	3店舗誘致	—

施策 No.9	継続事業		
事業名	太田川駅前イベント広場活用検討		
事業概要	名鉄太田川駅を中心とした中心市街地の活性化を図り、人が集まる「にぎわい」を創出するため、太田川駅前イベント広場においてイベントを開催し、周辺店舗への集客につなげる。		
実施体制	株式会社まちづくり東海（市の委託事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	イベント事業の継続実施	イベント事業の継続実施	イベント事業の継続実施
目標指標	イベント数 20件	イベント数 21件	イベント数 70件
実績	市及び観光協会主催・委託事業 8件 民間事業 20件	市及び観光協会主催・委託事業 1件 民間事業 31件	—

施策 No.10	継続事業		
事業名	商店街近代化奨励交付金		
事業概要	商店街における中高層耐火建築物の建築を奨励し、商店街の近代化及び商業振興を図るため、都市計画法に定める商業及び近隣商業地域内に店舗または事務所の用に供する目的で建築した中高層耐火建築物（地上階数3以上）の所有者に対して、建築物に係る固定資産税の25%を3年間交付する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	1件	1件	5件
実績	1件	3件(予定)	—

施策 No.1 1	新規事業		
事業名	中心市街地出店補助金		
事業概要	中心市街地への商業集積の促進及び商業地としての魅力向上を図るため、中心市街地活性化基本計画の区域内に新たに新店を出す事業者に対し、店舗の新築及び建物に附属する設備に係る工事費の一部を補助する。		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の実施	出店完了	出店完了
目標指標	2件	—	—
実績	3件	—	—

重点推進項目⑥

○個性的な商品・サービスを発掘し、強化することで商業の活性化を図る。

期間目標：一店逸品運動参加店 40 店舗

プレミアム商品券参加店 490 店舗

施策 No.1 2	継続事業		
事業名	一店逸品運動		
事業概要	商工会議所が中心となって展開している「ヤル気のある」、「自分なりの創意工夫を活かした」商店・専門店の個性的な商品、サービスを発掘し、これを育てることで、市の商業活性化を目指す運動。 他では入手できないその店ならではの商品、サービスを発掘し、これに磨きをかけて、個店のオリジナルな特徴を創出する。		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	参加店舗数 30 店舗	参加店舗数 30 店舗	参加店舗数 30 店舗
実績	参加店舗数 25 店舗	参加店舗数 27 店舗	—

施策 No.13	継続事業		
事業名	プレミアム商品券		
事業概要	低迷する景気の浮揚策として、また、商工会議所会員増強策として実施し、市内の商業活性化を図る。		
実施体制	商工会議所（市の補助事業）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	参加店舗数 370 店舗	参加店舗数 480 店舗	参加店舗数 600 店舗
実績	参加店舗数 467 店舗	参加店舗数 529 店舗	—

産業展望4 農業の現状を踏まえた取り組み

☆ 農業を取り巻く環境が大きく変わろうとしている今、産業としての農業振興が必要である

重点推進項目⑦

○若者、農業後継者等への就業支援と農業青年の育成

期間目標：支援補助金の継続実施

施策 No.14	継続事業		
事業名	農業後継者カゴメ海外研修費補助金		
事業概要	農業先進国における農業経営状況、農家の生活状況、試験研究の実態調査及び農産物流市場の視察研修など、国際的視野と見識を備えた中堅農業青年の育成を図るため、市内在住の20～30歳までの農業後継者を対象に、海外研修に要する経費に対して補助する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	2件 1,000,000円	2件 1,000,000円	2件 1,000,000円
実績	2件 1,000,000円	2件 1,000,000円	—

施策 No.15	継続事業		
事業名	農業後継者育成事業補助金		
事業概要	農業大学校、試験場等の研修や専門部活動・青年部地域野菜等消費宣伝調査など、農業後継者の育成を図るため、試験場等での研修経費や専門部活動の経費に対して補助する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の継続実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	2件 168,000円	2件 168,000円	2件 168,000円
実績	2件 148,000円	2件 148,000円	—

重点推進項目⑧

○東海市の特産である洋ランを始めとした農作物を市内外へ広く発信し、他の産地との差別化をする。

期間目標：地域振興作物ブランド化事業補助金の継続実施

施策 No.16	新規事業		
事業名	地域振興作物ブランド化事業補助金		
事業概要	東海市の特産である洋ランを始めとした農作物を広く発信し、他の産地との差別化、市場での地位確立、消費者への認知度向上を図るため、農業団体が作製する出荷用ラベル、市場出荷シール及び段ボール箱等に東海市の特産である旨をPRする文言やキャラクターを使用した場合にそれらの作成に係る経費の一部を補助する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業の創設、実施	事業の継続実施	事業の継続実施
目標指標	2団体 260,000円	2団体 260,000円	2団体 260,000円
実績	2団体 260,000円	2団体 260,000円	—

産業展望5 雇用問題への対応

☆ 雇用の安定に明るい兆しが見られない中、必要な就業支援策等を講じる

重点推進項目⑨

○障害者、高齢者、女性の積極的雇用に向けた普及啓発

期間目標：支援補助金の継続実施

施策 No.17		継続事業	
事業名	離職者雇用創出奨励補助金		
事業概要	地域の雇用創出のため、新たに離職者を正規雇用する市内の中小企業者に対して、一人当たり20万円（障害者の場合は30万円）の奨励補助金を交付する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業継続実施	事業継続実施	事業完了
目標指標	4件 1,000,000円	3件 700,000円	—
実績	2件 400,000円	1件 200,000円	—

施策 No.18		継続事業	
事業名	労働相談、内職相談、地域職業相談		
事業概要	求人、求職、雇用問題などに関する相談や、年齢制限のない職業安定所（ハローワーク）と同様の求職情報を提供する。		
実施体制	市		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業継続実施	事業継続実施	事業継続実施
目標指標	労働相談 125件 内職相談 980件 地域職業相談室 紹介 3,100件 職業相談 3,400件	労働相談 130件 内職相談 990件 地域職業相談室 紹介 3,200件 職業相談 3,500件	労働相談 125件 内職相談 970件 地域職業相談室 紹介 2,760件 職業相談 3,300件
	実績	労働相談 122件 内職相談 691件 地域職業相談室 紹介 2,192件 職業相談 2,844件	労働相談 59件 内職相談 320件 地域職業相談室 紹介 1,034件 職業相談 1,389件

施策 No.19	新規事業		
事業名	女性の再就職応援講座		
事業概要	結婚、出産などを機に退職した経験を持つ女性が、再度社会に出て働くことに対して正しい知識を得てもらい、前職で培った知識や技能を活かした再就職・転職活動を支援するための講座を開催する。		
実施体制	市（まちづくり協働推進事業としてNPO 法人まち・ネット・みんなの広場に委託）		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	事業実施	事業継続実施	事業継続実施
目標指標	参加者数 80人	参加者数 80人	参加者数 80人
実績	参加者数 56人	参加者数 76人	—

その他（ビジョン推進に係る環境整備、関連事業等）

☆ ビジョン推進に係る関連事業等を整備する

施策 No.20	継続事業		
事業名	東海市産業育成会議		
事業概要	東海市産業振興ビジョンを推進し、市の産業振興全般に対する助言及び評価を行う。また、実行計画の作成管理、実行計画を基に実施する施策への助言及び評価を行う。		
実施体制	市・商工会議所		
実施内容	26年度	27年度	28年度
	第2次実行計画の進行管理、評価	第2次実行計画の進行管理、評価	次期実行計画策定、進行管理、評価
目標指標	2回開催	2回開催	2回開催
実績	2回開催	1回開催	—

4 事業評価

○ 事業実施年度の翌年度に東海市産業育成会議において、前年度に実施した事業の取組状況について、以下の項目についての評価を行う。

評価項目	評価のポイント
(1) 内容	実施した事業の内容はどうか。
(2) 件数等	件数、金額等の定量的な実績はどうか。
(3) 実施体制	市を含めてどのような事業体制をとったか。
(4) 成果	施策を活用した事業者の声など、定性的な実績はどうか。
(5) 波及効果	施策活用者以外の他事業者等への影響などはどうか。
(6) 課題等	事業実施を通じて判明した問題、解決すべき課題はどうか。

○ 事業実施年度の当初に東海市産業育成会議に対し当該年度の事業計画を報告し、意見を求めることとする。

